

風は誰

松本西夏

曼殊沙華袖擦りゆきし風は誰
対岸へ翔びしカワセミ風になる
カワセミのダイブ一閃風の中
亀歩く出水濁れる川の底
彼岸花川中に亀目会いて
台風の一過はならず雷猛る
猛滂沱台風いずこを彷徨える
台風過雨戸食らえるガラス片

台風朝も更夜も吼えやまず
苛立ちのさなかや台風襲いくる
見よがしにミサイル二発秋未明
理もなにもミサイルに乗せ初嵐
三十八度の炎天が焼く国境
コロナとう冷たきものの根はいずこ
コロナ噴きパンデミックへと雪崩る
借りものと思いしままに十二月
神域に誘う虫の音の輪唱
虫の音の星空に舞う野に眠る
野の石をしとどに濡らし虫歌う
眼裏を爽やかに過ぎりし風は誰